



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄道) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.6.5 No. 3229

第百十八回国会
衆議院

運輸委員会 議 録

四月一八日、衆議院・運輸委員会で上野健一委員(社会党)が、清算事業団について政府、清算事業団理事長をすべく追及、国家的不当労働行為、差別・選別の実態を明らかにしてきた。しかし、政府、当局は、血も涙もない言いわけに終始している。

われわれは、怒りも新たに、「志なかばに急逝された磯辺氏の無念、四月以降も争議団となって闘い続けている仲間たちの苦闘を我がものとして、決意を固めていかなければならない!

今後の闘いの一助として国会議事録の一部要点を紹介する。(見出しは編集部がつける)

千葉労働の議論に答へ はまなな 放つておけ

「上野委員」「事業団の就職あっせんについて、これ以上出来ないくらい充分やったと言っているが、それらについて、ほとんどやってないというのが一致した見方だ。あっせんの数は多いが、いわゆる差別採用と言われている。事業団の責任者として、明確にしてほしい。」

「石月(清算事業団理事長)参考人」「あっせんに際して差別待遇はないと確信しています」
「上野委員」「関東雇用対策係長、担当主席会議が昭和六三年七月二五日

明したようですが、

雇用対策業務の進展でみれば「良い子」「悪い子」の二つしかない、その面では「悪い子」で他は「良い子」。

に開かれ、そこで復命書が提出されている。その中で明確に九州や北海道だけじゃなくて、関東においても最初から差別していることが明らかになっています。要点だけ読むと。

千葉の説明は弁解に聞こえる。再就職する気があるか無いかだけ確認し、あとは放つて置いてよい

千葉労との議論に巻き込まれては駄目、無駄であるし、集団は放つておいてやれ。

こういうことになって

清算事業団の仲間家族を
解雇撤回原職復帰

再就職あっせんでも差別 国会でも追及

十三名を

「石月参考人」「よい景気が続いており、雇用対策については、たくさん求職先があり、特に関東地方においては再就職対象者に十分示してきたつもりです。再就職の意思が薄かった方がおつたと灰聞しています」
「上野委員」「責任感もなければ、人間的温かさとか、人間を大事にするという態度が全然感じられない。事実関係も認めようとしなさい。しかも、自殺に追いこまれた人た

ます。答弁しているのは関東雇用対策部の根岸雇用対策課長、南雲企画係長、その他本部から松尾係長がでていますね。
「石月参考人」「具体的状況を存じておりません」

差別が事実なら 責任をとるのが

「上野委員」「(差別が)明らかになって事実だとしたら責任をとりますか」

それが今後の円滑な分割会社の発展に「一番重要」と言っています。
いずれにしても、この人たちを救おうという態度があつてしかるべきじゃないか。

「大野大臣」「今日こういう形で解雇者が出たのは誠に残念と思う。人間の生活ですから当人もまじめに考えていただきたい。」
「上野委員」「どうも大臣も駄目みたいですね。政府として公にしたことについて責任をもって処理すべきだ。これは今後も続く問題ですね。JRが株を上場しようとしても障害が出てくると思います。この問題は改めてまた出直し、いろいろな角度から申し上げてまいります。」

ちもいる。こういう状態があります...」
「上野委員」「大野大臣は、労働大臣もやられておる。清算事業団問題は明らかに分割・民営化の犠牲者ですね。当時中曽根総理大臣は「一人も路頭に迷わせなさい」と言っている。平井労働大臣も「雇用不安を起させない、

当人(事業団役員)も まじめに考えろ

労働千葉労働学校

6月16日13時
第3回講座 とき 6月16日13時 ところ 労働者福祉センター

テーマ
激動する世界情勢は、何を語るのか?

講師 鎌倉金栄(労働者教育センター)

『新たな時代の労働運動の課題』

断じて許せない!!

清算事業 1046名
回労働者 の首切り